

- ◆ 新たな広報手段として「金融ほっとライン」や「多重債務」相談窓口が記載され、携帯できる名刺サイズのカードをコンビニエンスストアの協力を得て店内に設置（平成28年11月末）。
- ◆ 全国で初めてとなる「少年院」の在院生向け金融リテラシーの講演を実施。少年の矯正プログラムへ参画し、地域へ貢献。
- ◆ また、地方公共団体主催のイベントへ積極的に参加するなかで、その内容に、実施する地域の名物や方言を取り入れるなど、趣向を凝らした広報活動を実施。継続した取組が、ニコニコ動画・ブログ・SNSなどに取りあげられる。

1. 成果事例の概要等

◆「多重債務相談窓口」広報のための名刺サイズのカードをコンビニエンスストアに設置

多重債務相談における家計管理支援を通じて、お金に困っている人でもコンビニの利用頻度が高いという事実が判明。こうした中、コンビニのトイレに「DV被害相談窓口カード」が設置されていることにヒントを得て、多重債務相談窓口を記載したカードも設置できるのではないかと考え、(株)セブン-イレブン・ジャパン、(株)ファミリーマートに接触し、トイレに相談窓口広報のため名刺サイズのカードを設置すべく協力を要請。

この要請に対して、上記2社は、「重要な施策であり、地域貢献に役に立てるなら」と設置を受諾。

全国はじめての企画が、平成28年11月末から1ヶ月間、愛知県内の670店舗で実現。



◆瀬戸少年院（愛知県）における金融講演（「全国初」の取組）

アウトリーチ拡大のため、様々な団体との接触を続ける中で、瀬戸少年院の法務教官より、少年院は更生施設であり在院生がきちんと社会常識を学び就職した場合には再入院率が低下するとの話があった。そこで、「財務局が在院生に対して金融や証券などの一般知識を付与することで、社会復帰へのお手伝いができるのではないかと考え、東海財務局から同院を訪問。金融講演のメニューを提示しながら、ニーズに合った講演が可能である旨説明し、講演が実現したもの。

◆各種イベントへ積極的に参加し、ステージなどで寸劇を交え相談窓口をPR

名古屋市主催の若年層を対象とした、『悩みを抱えた時には相談しよう』という趣旨で開催されているイベント「スマイルデーなごや」で、寸劇を交え、多重債務相談窓口を紹介（その他、瀬戸市、一宮市消費生活展のPRなど60回以上）。



「スマイルデーなごや」での寸劇の様

ニコニコ動画での生配信

2. これまでの取組の成果等

◆カード（多重債務相談）のコンビニ設置は「相当の効果」

「コンビニにあったカードをみて電話した」という相談が、設置から1ヶ月間で18件。年間の相談件数が500件程度であることから、年率換算すると、相当の効果が認められた。

◆瀬戸少年院での講演実施が、「愛知少年院」からの講演要請へと波及

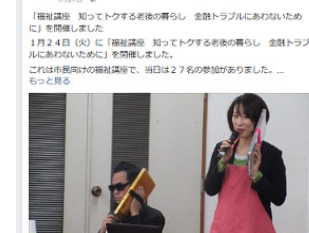
瀬戸少年院の紹介で愛知少年院から在院生向けの講演要請がなされたほか、「在院生より金融の質問を受けることが多いが、回答に窮していた」との理由で、教官向けに、証券の基礎知識に関する講演もしてほしいとの要望がなされ、東海財務局より2回に分けて講演を実施予定。（29年5月予定）

◆イベント時の寸劇では、実施地域の名物や名古屋弁を取り入れるなど、趣向を凝らした広報活動を行った結果、新聞・テレビでの報道に加え、ニコニコ動画（視聴者約700）、地元アイドルのブログ（読者約1,700）、Facebook（フォロー約200）など、ソーシャルメディアでも情報発信された。

名古屋地元アイドル（ブログ）



名古屋市社会福祉協議会（facebook）



3. 今後の課題と東海財務局の対応

◆今後の課題

- 更に効果的な取組とするためのアイデアや工夫が必要。

◆今後の東海財務局及び管内財務事務所の対応

- 引き続き、地方公共団体や企業等と連携しながら、より効率的で効果的な広報に努める。